

九州職業能力開発大学校と北九州市が「生産性向上のための人材育成等に関する連携協定」を締結しました。

平成30年1月31日

本校では、ものづくり分野における高度な知識と技能・技術を兼ね備えた実践技術者の育成と産業界における将来の生産技術・生産管理部門のリーダーを育成しています。また、近年、産業界における人材不足が危惧される中、生産性の向上が喫緊の課題となっており、本校は平成29年4月に生産性向上人材育成支援センターを開設し、生産性向上を目指す地域企業に対し従業員の人材育成等において支援の強化を図っています。

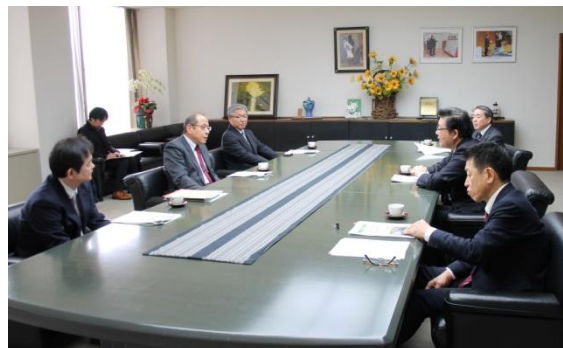
一方、ものづくりの街である北九州市は、産業界の人材不足を克服するためIT・ロボット等の新しい技術の利活用や柔軟な働き方の推進による「生産性改革」を進めています。

この現状を踏まえ、本校と北九州市は、相互の課題を連携し解決することを目的に「市内企業の生産性向上と人材育成」、「人材の確保と学び直しの支援」に関する連携協定を締結しました。

今後、本校が北九州市との連携を強化し、学生及び産業界の人材育成を一層充実させ、地元企業の発展に寄与することが期待されています。



事前挨拶：北橋市長（右中央）



事前挨拶：岡田校長（左中央）



(岡田校長) 連携協定署名 (北橋市長)



連携協定書